

中高生のFACEBOOK (SNS)利用を禁止するべきである

私は、「中高生のFACEBOOK (SMS)利用を禁止するべきである」に賛成です。つまり、もしウェブサイトは年の各金と制限がなかったら、両親は禁止したほうがいいと思います。FACEBOOKのようなウェブサイトは時間を無駄にしやすくするし、個人情報を守ることもできないし、それに知らない人も簡単に情報を見つけられるので、若い中高生がFACEBOOKみたいなウェブサイトを使うのは危ないです。もちろん、時間を無駄にすることやプライバシーは大学生にも問題ですが、中高生はまだ習慣が発育しているので、時間を無駄にすることやインターネットで友達の状態を五分ごとにさがすことのような癖を付けないようにするために、禁止しなくては行けないと思います。それで、一番FACEBOOKを使わないほうがいい理由は、インターネットで作ったり続けたりする友情は、生活や友人同士によくないことです。中高生は、まだ友達のなり方やインターネットの使い方や自分の身元を習っているので、中学と高校の時に、毎日直接会ったり話したり友達を作ったりすることは大切なことです。

たしかに、FACEBOOKのようなSNSは若者の生活やコミュニケーションをもっと速くしていますが、本当の生活で直接会った友達のほうが大事なのはないでしょうか。というのは、直接なら、友達の顔を見ながら話せます。ボディランゲージと顔でだけ見せられる気持ちは、知らない人の話し方や友人のなり方にとっても大切です。あの人はどううれしいかどうか、私と友達になりたいかどうか、あまり話したくないかどうか、など分かるために、毎日直接の話でだけ慣れるようになるのではないのでしょうか。さらに、FACEBOOKのようなSNSは、みんなの状態や返事が速く見られすぎるから、あまり考えないで答えることが簡単にできます。その時に、速く反動することはたいていよくないと思います。メールを書く時にも、気持ちが一番強い時は、最悪の返事する時です。それから、友達の情報（誕生日や趣味や興味や付き合い状態）は、聞かないで習うことも悪くておかしいことです。ですから、友達をなったり、仲がいい友人ができるようになったり、永久の友達のなり方を習ったりするために、直接会ったり、情報や電話番号や趣味を聞いたり、気持ちを話している間に見たりしたほうがいいのではないのでしょうか。